

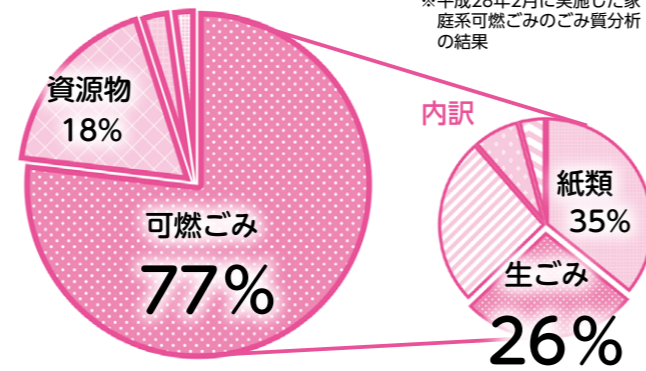
生ごみを減らそう！

平成27年度の家庭系ごみの内訳をみると、可燃ごみが77%と大半を占めています。さらに詳しく見ると、紙類の35%に次いで、生ごみが26%と多くを占めていることが分かります。生ごみには調理くずや食べ残し、未利用食品などがあります。

皆さんは期限が切れてしまったもの、しなびてしまった野菜や果物などを捨てていませんか。「食材は買すぎない」「無駄なく調理する」ことを心掛けましょう。

表5 家庭系ごみの内訳と可燃ごみの内訳(※)

※平成28年2月に実施した家庭系可燃ごみのごみ質分析の結果



生ごみの水切り14日間チャレンジ

生ごみの水分量は約70~80%といわれています。生ごみはぬらさない、またはしっかり水切りすることで、確実に重量を減らすことができます。

水切りでこんなメリットが・・・

家庭では 生ごみ出し楽々♪

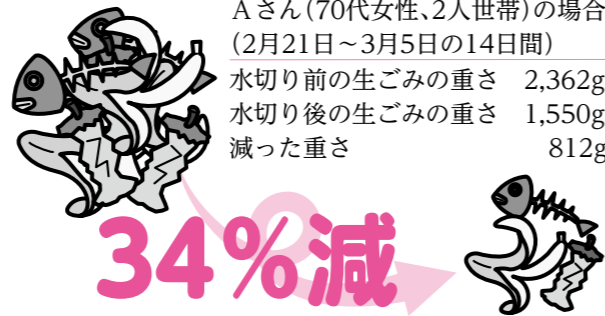
地域では カラス、ネコ被害減少

市では 燃焼・発電効率アップ

モニターに生ごみ水切りに14日間チャレンジをしてもらいました。

Aさん(70代女性、2人世帯)の場合
(2月21日~3月5日の14日間)

水切り前の生ごみの重さ 2,362g
水切り後の生ごみの重さ 1,550g
減った重さ 812g



ステップアップ 生ごみの堆肥化にチャレンジ!

市では、生ごみ処理容器(コンポスト)か機械式生ごみ処理機を購入して、家庭の生ごみを堆肥化・減量化する場合に、購入費の一部を補助しています。



ごみはルールを守って出しましょう

収集日当日の午前8時30分(塩原地区は午前8時)までにごみステーションに出しましょう。

次のものを捨てる場合は、下の注意事項を必ず守って捨ててください。

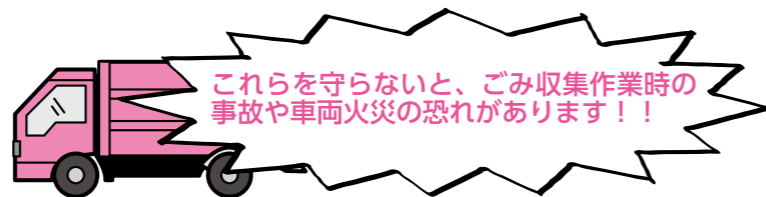
使い捨てライター **可燃ごみ**
中身を空にしてから出しましょう。

スプレー缶・カセットボンベ **不燃ごみ**
中身を使い切り、屋外で穴をあけてから出しましょう。穴あけ作業に不安のある人は相談してください。

刈払機などの燃料用(混合)ガソリン缶 **不燃ごみ**
中身を使い切り、フタを開け乾燥させてから出しましょう。(中に気化したガソリンが残っていると危険です)

次のものは受け入れできません

注射器(針)
処理不適用
かかりつけの医療機関に相談してください。



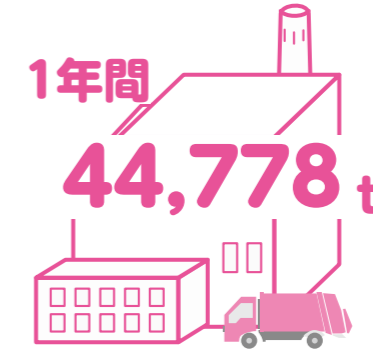
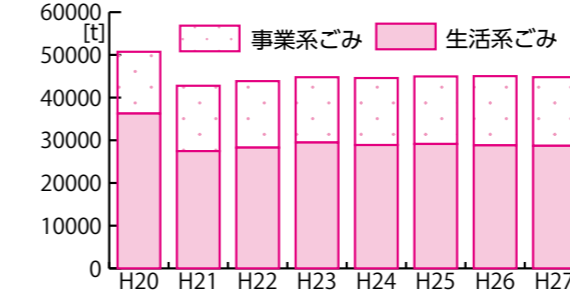
ごみの減量・資源化について考えよう

問い合わせ 環境対策課 ☎0287(62)7301

◆ごみの総排出量

ごみの総排出量は、「生活系ごみ」と「事業系ごみ」に分けられます。生活系ごみは、家庭から排出されるごみ(家庭系ごみ)と集団資源回収に出されるごみ(自治会や子ども会などの非営利団体が回収した資源物)を合計したものです。一方、事業系ごみは、一般的に飲食店や事務所などから排出される産業廃棄物以外のごみのことです。ごみを減らすためには、一人ひとりの取り組みが重要です。

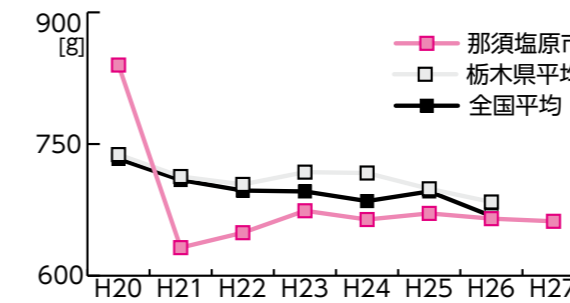
表1 市のごみ総排出量の推移



◆増加から横ばい傾向に転じたごみの総排出量

平成27年度のごみ総排出量は44,778tで、前年度より242t(0.5%)減少しました。ごみの割合は、家庭から出る生活系ごみが64%、事業系などから出る事業系ごみが36%でした。

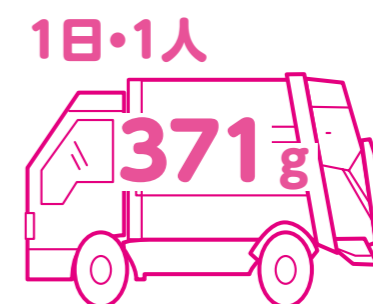
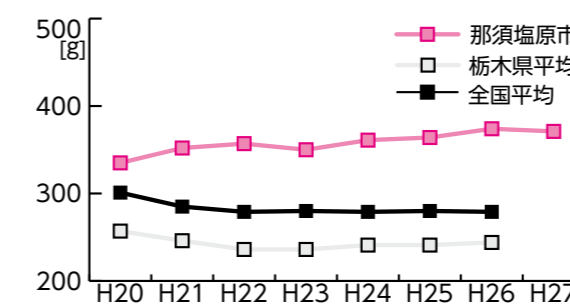
表2 生活系ごみ 1人1日当たりのごみ排出量の推移



◆有料化により激減した生活系ごみ

有料化導入後に減少し、その後増加傾向が見られましたが、平成26年度以降は減少傾向となっています。また、国県の平均と比較しても、わずかに下回っていることが分かります。

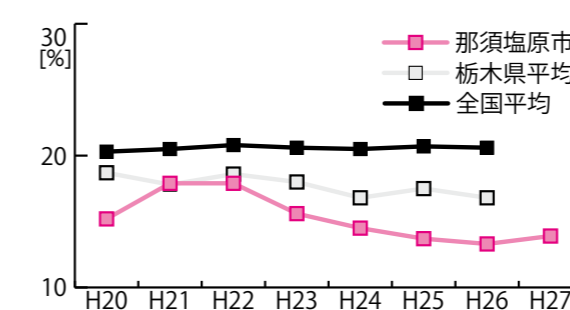
表3 事業系ごみ 1人1日当たりのごみ排出量の推移



◆なかなか減らない事業系ごみ

平成20年からほぼ増加傾向であり、27年度に減少は見られますが、国県の平均と比較すると、かなり多い状況が確認できます。これは、本市が観光地であるためと考えています。

表4 資源化率の推移



◆低いごみの資源化率

平成22年度と比較するとかなり下がっています。放射能の影響により、クリーンセンターでの焼却灰溶融スラグ化(※)が中止していることや、民間の資源物回収の取り組みが進んだことが原因と考えています。

※焼却灰を約1,500度の高温で溶融して生成されるガラス状の固形物で、路盤材などに再利用される。